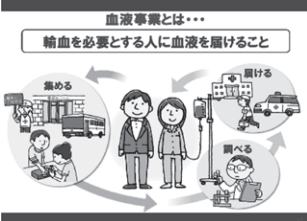


プログラム名	「助け合う社会を支える一人になる」赤十字や血液事業(献血と輸血)から考えるわたしたちの社会		
団体名	東京都赤十字血液センター		区分 講 教
対象者	小 中 高 小学校については高学年（主に 6 年生）	対象分野	学校

プログラムのねらい	
苦しむ人を救おうとする赤十字の理念や、輸血が必要な人を皆で支える血液事業の仕組みについて学びます。献血で救われる命があること、自分たちにも誰かの命を救う力があることを、輸血を受けた方の体験談（動画視聴）などを通して実感していただきます。献血がまだできない年齢でも、プログラムを通して学んだことをご家族や周りの方に話すことも、ひとつの大きな献血協力であることを伝えます。プログラム全体を通して助け合いについて考え、「自分にもできることがある」と気づいてもらうことを狙っています。	
プログラムの内容	
1 赤十字について 赤十字って何？ どうして赤十字ができたの？ 戦争で負傷した兵士を、敵も味方も関係なく救助したアンリー・デュナンの話 2 血液事業について 血液は身体の中でどんな役割があるの？ → 生きていくうえで血液が必要不可欠である 輸血は何をするの？ → 病気や怪我で血液を補う必要がある患者さんを救うために、1 日に約 14,000 人の献血協力が必要である → 実際に病気で輸血を受けられた方の体験談を動画視聴し、血液の大切さを実感していただく 献血ってなに？ → 献血の目的や具体的な方法、献血ルームの様子を紹介 3 助け合う世の中の一人になる 人は誰しも、救う側にも救われる側にもなる。お互いが助け合うことで苦しんでいる人を救える社会を築くことができる。まずは身近なことから、自分にできることを考えてみる。ほかのひとの苦しみ「気づき」、「考え」、「実行する」ことができる人になろう！！ 日本赤十字社の活動  血液事業とは・・・ 輸血を必要とする人に血液を届けること  ほかの人の苦しみに 「気づき」「考え」 「実行する」 どんなことができると思いますか？ 考えてみてください 	
令和 4・5 年度実績	☐小学校 ☒中学校 ☒高校 ☐特別支援学校 ☐その他（ ） 令和 4 年度実績（都内） 12 校（回） 令和 5 年度実績（都内） 26 校（回） ☐教科（ ） ☒道徳 ☒総合的な学習の時間 ☐特別活動（クラブ活動、生徒会活動等） ☐教育課程外（放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等） ☐教員対象研修 ☐PTA 等保護者対象研修 ☐学童クラブ・児童館等のイベント ☐その他（ ）

支援活動の概要紹介	
日本赤十字社の血液事業の「献血」が、医療に必要な不可欠な輸血用血液を集める国内唯一の助け合いであることを学習する。赤十字の理念や日本赤十字社が行う 9 つの事業についての学びから、世の中には、「献血」以外にも様々な助け合いが必要とされており、自分には何ができるのかを考える機会を与える。相互扶助・相互支援の必要性、「献血」を含めた将来の助け合いの担い手として、考えるきっかけとする。	
対応可能な時期	日程が合えば随時可能 先着順、平日の開催とさせていただきます。平日以外は、ご相談ください。
必要経費	無料
その他 会場・定員・必要備品 などについて	【必要備品】パソコン（パワーポイント搭載）、プロジェクター、スクリーン、マイク、スピーカー 会場や人員については、事前の打ち合わせの際に確認させていただきます。 プログラムの所要時間は 45 ～ 90 分程度。ご要望に合わせて調整可能です。
連絡先	部署名・担当者
	東京都赤十字血液センター 総務課企画係 直井裕介・坂本菜織
	プログラム紹介 WEB
	https://www.bs.jrc.or.jp/ktks/tokyo/special/m6_07_index.html
	電話
	03-5272-3512
	e-mail
	tky_kikaku@ktks.bbc.jrc.or.jp